

奄美 枝手久斗争略年史

1973年(昭和48年)

- 2.22 東亜燃料KK(エクスン系)は、枝手久島(無人)に、日産50万バレルの石油精製基地計画書を、宇検村に提出。
- 3.25 “石油企業誘致反対村民会議”結成。後に“反公害宇検村民会議”と改名。
- 4.13 “公害から奄美を守る郡民会議”結成。
大島郡内各議会“反対”を決議。本土各地に、奄美人による“守る会”が結成。
- 6.3 宇検村長蓬茅に反村派、橋口富秀氏が出馬(得票508)誘致派松元辰己村長(現)。
- 8.19 オ一回枝手久祭、喜界、名瀬、大和、瀬戸内より漁船百数十隻、陸上よりバス5台、乗用車二十数台、平田に集結。前夜祭の壮観さは前代未聞。
- 9.26 鹿児島県庁前にて、公害反対県民集会。前日の南薩促進県民集会と同じく参加約三千人、この中に東燃の金によって宇検村賛成派百人参加。集会の後、知事交渉。
- 11.7 オ一回東燃本社抗議、二百人で大荒れ。
- 12.30 オ一回反公害全郡民現地総決起大会。参加五千人、湯湾干拓地を埋め尽す。賛成派七百人も集結、機動隊、私正服合計二百人。無届けデモに移ろうとして乱斗、消防長である村長命令にて放水、瀬戸内海上デモ隊員に負傷者出る。

1974年(昭和49年)

- 3.10 現地総決起集会、5千人結集。機動隊数百名(鹿児島より)動員さる。
- 7.10 東燃の枝手久島踏査隊を、反村派50人が急襲、2~3時間後に賛成派も乗り込んで来て流血寸前の激突。
- 8.7 台風直撃の中で、平田にてオ2回枝手久祭、参加千人、宇井純氏らを招く。
- 11.18 オ2回東燃本社交渉、三百人が結集、2名不当逮捕。

1975年(昭和50年)

- 1.10 “琉球弧キャラバン”のポン、単身、平田新元博文氏訪問。
- 2.10 金丸知事来島、郡民会議五百人が待ち受け、警官50人とスラッジの混乱。
- 2.26 平田、新元博文宅へ機動隊50人、私制服計70人によるガサ入れ。脅迫電文の件。
- 5.4 鹿児島で“九州の自然を守る集会”。郡村民会議代表、ポン諏訪之瀬島代表、参加。
- 6.9 平田青年部佳本茂義君逮捕さる。脅迫電文の件。村民会議約百名による連日のマイク攻撃に包囲された名瀬署は、72時間後に釈放。
- 8.7 ポン、久志部落入植決定。コミューン“無我利道場”発足。
- 8.8 小沢環境庁長官来村、奄美選出の保岡興治代議士(現国土庁政務次官、田中派)の案内。村民会議三百人、久志で待ち受けて陳情。
- 9.14 久志豊年祭、無我利の参加により村民会議を動員、賛成派を締め出して盛大に祭る。
- 10.5 久志部落会、解散。豊年祭の怨みが引金となり、伝統の血縁共同体を崩壊。
- 11.3 南薩枝手久祭、北千住公園に五百人参加。

- 12.7 東燃参り（東燃和歌山工場への招待旅行）阻止のため、郡民、村民会議共同で宣伝活動。関東青年部もこれを皮切りに、本社、社長宅への波状攻撃。

1976年（昭和51年）

- 1.7 伊須湾（瀬戸内町）に、CTS（石炭備蓄基地）計画、明るみへ。
4.11 久志支部は、橋口富秀氏を村長が区長して認めないため、村役場をボイコット。
4.12 “無我利丸、進水式。村民会議、久志地主会などより祝福を受ける。
この頃、枝手久島の反対派地主（久志）の土地を、村民会議代表の名で仮登記。
8.5 枝手久島の鈍に、“無我利塔、完成。
8.15 オ4回枝手久祭。例年の平田に代って久志が会場、ヒッピーまがいを含め参加三百人。
8.31 宇検村議選、激戦の末、16議席中、反対派2名の惜敗。
9.27 徳之島核燃料再処理工場計画（MAT計画）明るみに出る。

1977年（昭和52年）

1. 東燃肩代わりの、県環境容量調査説明会。村民会議は連日、説明会場へデモ。
3.1 県環境容量調査は、3年向予算棚上げの末、鎌田新知事がついに断念。
4.10 久志にて、無我利道場の結始式。村民会議代表出席。
5.3 九州住民斗争交流奄美合宿。代表約30人平田へ、奄美との連帯共闘を誓う。
10.25 瀬戸内町議会、“原船むつ”、CTSの誘致を決議、議員らの裏切り相次ぐ。
12.4 郡民会議主催瀬戸内町大会、古に屋春日公園に2千人集結、デモ。
12. 宇検村定例議会は板打ちに東燃誘致を決議、誘致促進委員会が発足。

1978年（昭和53年）

1. 東燃、経済紙に枝手久計画を発表。オ一次工事は'79年、賛成派部落宇検側から土地を切り崩し、湾内埋立ての後、オ二期として枝手久島買収にかゝる。
1.31~2.1 宇検村漁協資格審査会。久志代表審査員と漁協が一方的に選定、久志漁民6名（内、無我利4名）不当に差別され、村民会議ついに裁判斗争に踏み切る。
5. 宇検村漁協は、久志、名柄の反対派漁民によるモズク養殖試験操業に封じて、“特別区画漁業法、なるものを持出し、網の撤去を命じ、海上保安方に通達、強制撤去。
7. 阿室の枝手久島部落共有地の売却をめぐる“枝手久裁判、名頼にて公判。
8.5 オ6回枝手久祭、本土より同志数十名参加、団結交流会となる。
10. 瀬戸内町漁協理事会、4:1（オ2）で環境容量調査にOKを出す。
10.21 南部入島4ヶ町村の各町村長、議長、漁協長は、県に対して環境調査を依頼。
10.25 久志漁民6名を原告とする“漁業権裁判、名頼にてオ一回公判。
12.4 東燃本社攻撃、“関東無我利会、も参加。
12.27 平田、山下水産アフリ漁組合解散、新規事業拡大へ。

1979年（昭和54年）

- 1.6 村民会議抜き打ち正月集会、阿室に百人参加、阿室支部の不明瞭さ糾弾さる。
2.11 郡民会議主催、名頼、古に屋両会場にて環境容量調査費予算編成阻止の全郡集会。

無我利道場アルバム

76'→79'



久志から見た枝手久島



76'



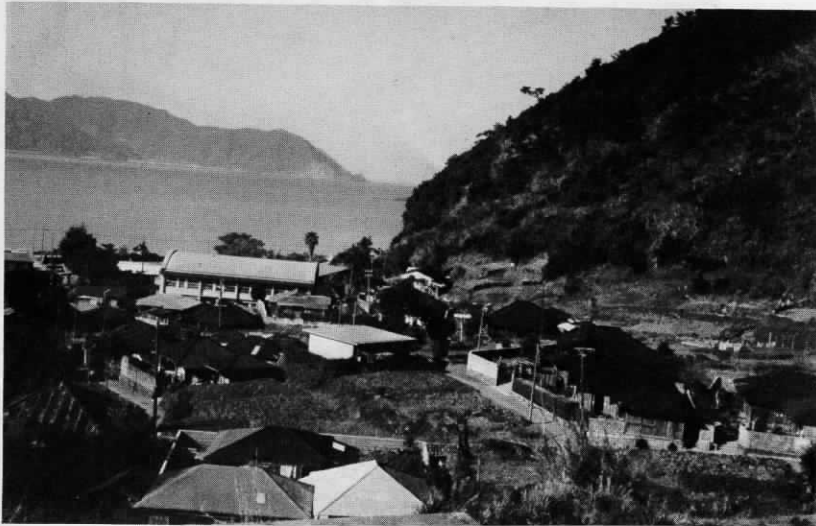
4月 無我利丸進水



7月 枝手久砦棟上げ



橋口ちゃん



77' 4月

ウルフ
ポン子 結婚式

久志部落



久志公民館にて



77' 旧3月3日

枝手久ドンの浜にて
反対派の節句



枝手久ドンの畑にて
ダマリ



アブリ漁 二号伝馬

右端ダマリ

78' 1月

モズク養殖作業

ヌビウジ

八郎ウジ

ウルフ



成育中のモズク



故ヤスリョーオジ
78' 初頭撮影
暮れに没す

ひかり



78' 夏



エイキ



万葉

78'' 10 反対運動会 無我利応援団



カム

ギャー

ボン子

ワニ

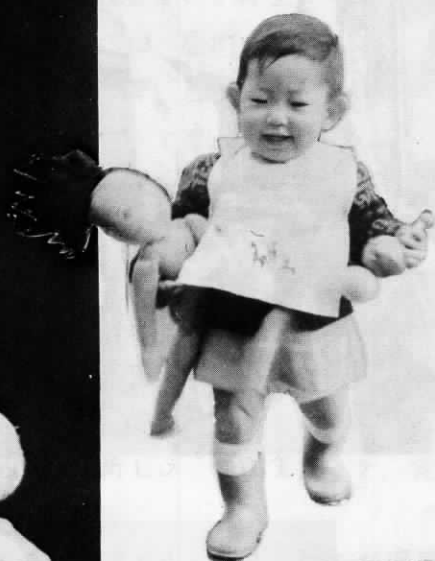


79'

新春



ミオと維摩



タカオと維摩



79"2・11

古仁屋でのデモ

無我利道場 勢揃い

タカオ エイキ ギャーミオ
 ポン子 宇摩 ポン 維摩 ウルフ
 万葉 ひかり



アジテーター山下春英

